

新発田青少年育成市民会議だより

は ば た き

新発田市民みんなで手をたずさえて

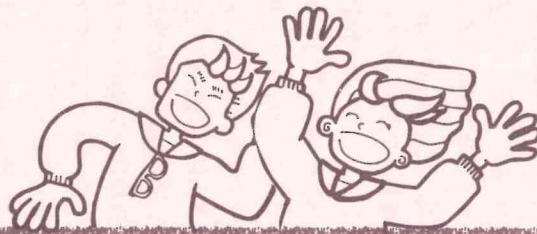


二葉小学校四年 相馬 和成

笑いとはせ

東中学校三年

中 條 辰 也



そんなこと笑いとはせ
道でころんだこと

作った料理がマズかったこと
歌ってた歌をまちがったこと

人に悪口言われたって
人にバカにされたって

笑いとはせ

そんなちよつとしたこと

きみだけがするわけじゃない

笑って、ハイ、とはしちゃえ！

発行 新発田青少年育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号
電話 (〇二五四) 二六一〇八九七

地域の活性化のため 良い知恵を



新発田青少年育成市民会議

会長 渡辺 秀 晃

もつと暑い日をと願いなが
ら、冷夏のまま、いつの間にか
秋を迎えてしまいました。

地球自体は、温暖な時期と寒
い氷河に覆われた氷河期と交互
にやってきたといわれています
から、これからは気象の条件も
単純ではなくなっていくのかも
しれません。

人間社会はどうでしょうか。
難しい時代に入ってきている感
じです。新聞等では残念ながら、
どうしてこんなことをと思われ
る事件がしばしば報ぜられ、お
互いに心の痛む昨今となりまし
た。対策はと問われても妙案が
見つからない現状を嘆かずには
いられません。人間性を大切に
するという近代の考え方は尊重
されなければなりません。人
間の持つ負の世界への対策を疎
かにしてきたことが原因ではな
いかと反省いたします。

一五〇〇年代に、最初にキリ

わたつての学習のあり方、内容
の充実を図り、単に言葉や形式
にこだわらず右往左往している社
会を正していくことが求められ
ると思います。

さて、青少年育成につきまし
ては、ここ数年來格段の御協力
をいただいております。特に
最近では地域活動に重点をお
き、特色のある活動の一つでも
工夫して加えてほしいというこ
とでお願いしてまいりました。
その成果でしょうか。全国的に
も評価をいただくところまでま
いりました。

今回、豊浦町との合併を機会
に、この地域活動の更なる発
展・充実を期待いたします。

1. 役員のあり方

2. 組織づくり

3. 実践活動の内容 等

皆様、多忙な日々を送ってお
られる中、恐縮でございますが、
折々に振り返ってみることも良
い事ではないかと考えます。

「これからの多難な時代を乗
りきっていく能力を育てるため
には、多様な他者との相互行為
の繰り返し」が大切だと言われ
ております。将来を背負う子供
達のために、活動の一層の充実
をお願いいたします。

新発田青少年育成市民会議 総会の報告

平成十五年度総会が、五月二十
四日(土)生涯学習センターを会場と
して開催されました。

冒頭、渡辺会長は、健全育成の
視点にしっかりと立ち、人間とし
ての基本的な生き方を大事にする
ように努めたいと挨拶しました。

次に、来賓として出席された市
長は、青少年の健全育成を目指し
て一層積極的に取り組むと述べら
れ、市議会議長は、青少年自らが
生きがいを持つて生きていくよう
に、地域ぐるみで取り組むことが大
切と述べられました。

議事として、平成十四年度事業
実績報告・決算及び会計監査報
告、平成十五年度事業計画案・予
算案等が提出され、共に審議、了
承されました。(別記)

続いて、平成十四年度特別対策
事業実践の外ヶ輪・米倉・佐々
木・加治各育成協の活動報告があ
り、それぞれの尽力の様子と実践
の成果に会場から大きな拍手があ
りました。(前号に活動内容掲載)
記念アトラクションの後、松川
副会長は、各地域とも特色を生か
した優れた活動を展開していると
謝意を表し、今後一層発展に努め
たいと述べ、総会を閉じまし
た。

すばらしかった 総会のアトラクション

今年度は、二二
王子大太の会」
と「猿橋中学校
区すこやかな子
どもを育てる会」
の皆さんをお迎
えしての記念ア
トラクションが
行われました。

初めに、昭和

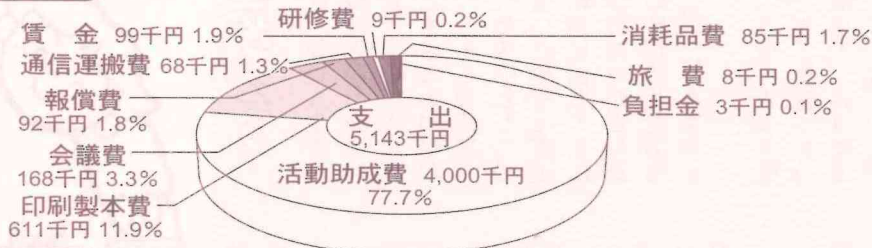
三十八年から途絶えていたものを
復活した「三王子大太の会」の皆
さんによる稚児舞を披露いた
しました。八名のかわいい稚児が、
江戸時代から伝わる華麗な衣装を
身にまとい、「四方拝」と「櫛」
という舞で四方を清め、皆様の幸
せを願う、「鉦」という邪悪を追
い払う舞をしていただきました。



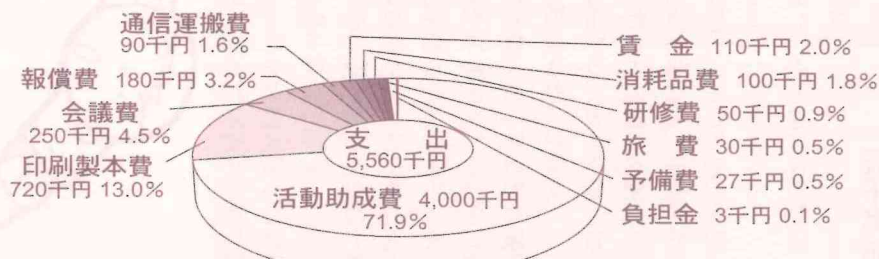
15年度総会を終えて (H15.5.24)

各世帯より会費をいただきました。ご協力ありがとうございました。

14年度決算報告



15年度予算額



15年度活動助成費は下記の組織団体に助成されました。

14地区青少年育成組織

組織名	助成金額(円)
外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会	336,000
御免町・一中校区健全育成会議	317,000
猿橋小学校区青少年健全育成協議会	400,000 ※50,000
二葉地区青少年育成協議会	254,000 ※50,000
住吉小学校区青少年育成協議会	258,000
松浦地区青少年健全育成協議会	110,000
佐々木地区青少年健全育成会議	137,000

青少年育成団体

団体名	助成金額(円)
市子ども会連合会	500,000
市健民少年団	96,000
市スポーツ少年団	120,000
ボーイスカウト新発田第1団	49,000
車野地区緑の少年団	36,000
市少年団体連絡協議会	20,000
市少年補導・相談委員会	51,000

特別対策事業助成金

組織名	助成金額(円)
猿橋小学校区青少年健全育成協議会	50,000
二葉地区青少年育成協議会	50,000
東豊小学校区青少年育成協議会	50,000

※特別対策事業では、地域組織の育成と強化、子どもの主体性と豊かな心を育てる活動の推進を図るために、学校週5日制への対応・子どもの心を育てる活動等を新たに重点的に実施する地区育成協を指定し助成することいたしました。



伝統的な舞と、にぎやかな踊りとのコントラストが、会場の皆様
の心を捕らえ、短い時間ではあり
ましたが、充実した素晴らしいア
トラクションを終えることができ
ました。出演下さった方々、本当
にありがとうございました。

厳肅なまでの舞に深く感銘すると
同時に、衣装の刺繍の美しさ・精
巧さにも驚かされました。

続いて、「猿橋中学校区すこや
かな子どもを育てる会」の皆さん
によるソーラン踊り「どっこいし
よ」です。各種行事に参加してい
る皆さんですが、今日はとても緊
張していると言いつつも、いざ
曲が始まると、元気に楽しく、所
狭しと踊っていました。よさこい
ソーランといえば、今では新発田
市でもブームとなっていますが、
中でも華麗で大変印象的な踊りを
披露していただく事ができまし
た。

特集

主題を考える

青少年時代は、長い人生の中で最も多感な時代といわれています。また愛情・友情・正義感・責任感……と生きる力が培われ充実していくのもこの時期です。やがて迎える大人としての生活で、落ち着いた態度で創造力豊かに、信頼感に満ちて生活していくことができるかどうかは、まさにこの時期の生き方にかかわってくるといえましよう。

情豊かに育まれてきた暖かい家庭の中でこそ芽生え深められていくものではないでしょうか。今、巷では、気がかりないろいろな課題が次々に生まれ人々の心配を募らせています。そして、人生の礎ともいえるべきこの時期の充実への一層の取り組みが強く期待されています。本特集では、青少年健全育成にかかわるこの重要な家庭の営みに焦点を当てて、皆様からそれへの思い、そしてその実際を披露していただきました。吟味いただきますよう期待しています。

(五十嵐記)



家庭は父性と母性のハーモニー

新発田児童相談所

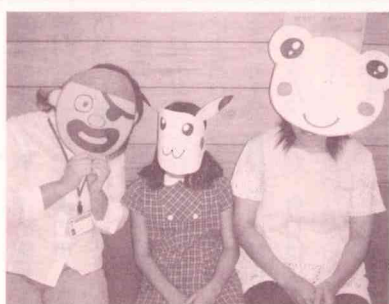
相談課長 渡辺 啓子



児童相談所は子どもに関するあらゆる相談にのることと児童福祉法で定められています。また対応年齢も0歳から十八歳、相談内容も実にさまざまです。表面的には子どもの問題ですが、親御さんのお話や子どもの面接や心理テストを通して見えてくる事は親子の問題に行き着くということです。家庭というのぞき窓は一つでも、中身は十人十色です。それも子育ての方法には正解もないし、すぐに答えは出ないという実にあいまいなものです。だから、いい答えはないのですが、逆にぎくしゃくした親子関係から学ぶ事もしばしばです。

S子さんは中学二年生。家族は共働きで両親と年子で病弱の弟の四人です。S子さんは小さい頃から手のかからない、しかも小学校時代は勉強もよくできた子でした。ところが中学一年の三学期になって突然、異性との夜遊びや家出、万引等を繰り返すようになり、両親や先生の言うことにも耳をかさなくなり、周囲をびつくりさせました。数回の親子面接後、お母さんの方からS子さんに「今のS子もかけがえのない大切な子」だと伝えられ、その時、S子さんは嬉しそうでした。その後はすっかり明るさを取り戻し、夜遊びも止み、また元気に学校へ復帰しました。お母さんも徐々にS子さんの立場に立つて、彼女の気持ちに気づいていったのです。

子どもの盗みは「愛を盗む」とも言われるほど、重大な心の危機サインになっている場合が多いのです。しかし、親にとつては我が子の急変ぶりに混乱が先立ち、「そんな悪い子は自分の子ではない」と拒否的になりがちです。子どもは大人を困らせながら「本気で自分を受け止めてくれる」のかどうかを試そうとする場合がよくあります。子育てをする上で大切な事は父性と母性の協調、だといわれます。母性とは「包み込む」、父性とは「切る」といったイメージです。乳幼児期から継続的に親から暖かく受け入れてもらっているという安心感があれば心や情緒の安定感が生まれて適切な対人関係を築くことができます。



お母さんと作ったお面

新しい事にも自信を持って挑戦しようといえます。守られている安心感は母性で育ちます。一方厳しい父性によって本能的な欲求や衝動を抑制しながら耐性力や社会的ルールを身につける事ができます。ただし、家庭によっては父親が母性を発揮する場合もあるかもしれませんし、逆に母親が父性を持ち合わせている事もあり得ると思います。

子どもは親から受けて来た人間関係を主体にして対人関係を持つていくことになります。暴力によって育てられた子どもは他の人々との関係の中でも攻撃的スタイルで相手を自分の思い通りに動かそうとするために、集団内ではトラブルメーカーになりがちです。

子どもの心を育てていくという事は、子どもの出すサインを柔軟にキャッチし、年齢に応じた適度の距離を保ちながら、子どもを主体にして、「子どもにとつてどうなのか」を問いながら親として日々かわっていく事だろうと実感しております。

我が家の歩み



大手町五 吉田奈津子

お盆の一週間、息子夫婦が一歳になったばかりの初孫を連れて帰省しました。

三十年ぶりの赤ん坊との生活、『目に入れても痛くない!』と言われる孫の可愛さを実感しつつ、小さな身体で周りを敏感に受け止め、精一杯自分を主張する姿に、驚きと戸惑いを感じる日々でした。

核家族、夫婦ふたりでの子育て。不安や悩みを語る中に、喜びや楽しみの気持ちが伝わってきて、無我夢中で過ごした自分の子育て時代とも重なり、世の中がいかに変わっても、子育ての『基』には変わりがないことを感じ嬉しく思いました。

今年も町内の親睦会が和やかに開催されました。

核家族・共働きが増えてきた二十数年前、同じ町内に暮らす人々が隣人としての交流を持つことが、子ども達の健全な育成活動に繋がるのでは。

大人も子どもも顔見知り

挨拶の交わされる地域を

と始めた親睦会。

一本目は『灯籠祭り』

小中学生の描いた灯籠に火を入れ参加者全員で投票し、焼き鳥・焼きそば・ジュースにビール。にわか板前さんの屋台に舌鼓を打ちながら、おしゃべりを楽しみ、クライマックスは町内上げての抽選会で盛り上がります。小さな子ども達に盛況なゲームコーナーは中学生の主催です。

二本目『金魚台輪・みこしパレード』は町内巡りと特養二の丸訪問。

車イスに乗り、一生懸命拍手して下さるお年寄りの姿は、子ども達の心に何かを残してくれるものと思っています。

現役時代、苦虫を噛み潰したような顔でおみこしを担いでいた中学生が、父親として戻ってきたとき、交通整理・おみこし担ぎにと汗を流してくれる姿を見るのは最高です。

幼い孫からは「三つ児の魂百までも」のことわざを。

親睦会からは「良い潜在的体験が残れば、良い大人になれる」との講師の声を思い浮かべた夏でした。

素敵な子どもたち

新発田市健民少年団
舟入隊

隊長 坂井 安彦

「健少のキャンプへ行くとね、全身泥だらけって感じで、ちよつとたくましくなったぞって顔で帰ってくる。家族でキャンプに行っても、なかなかそうはならない。そこが健少のいい所だと思う。」と、ある団員の保護者の方が言っていました。

確かに、所謂ファミリーキャンプと違って、テントをたてる事から炊事まで、何でも子どもたちが自分達でやるのだから、土や草はもちろん、炊事をやれば炭のススで手や顔だけでなく団服やズボンも黒くなってしまふ。一生懸命やればやる程、汗まみれにもなつて、奇麗なままじゃ帰れない。

でも、そういう活動をやっている時こそ、子ども達は素敵な顔を見せるのです。慣れない手つきで包丁を使っている時の真剣な顔、カマドの火をつける事が出来た時の得意そうな顔、ご飯がうまく炊けた時の嬉しそうな顔、沢山の笑顔とともに精一杯取り組んでいる素敵な姿がそこにあります。

キャンプだけでなく、様々な活動を通して、積み重ねていく体験が、子ども達をより素敵に輝かせていくことが出来たらと願っています。

「私の思い」



第一中学校

三年 三浦 直樹

僕が今、目標としていることは、新発田商業高校に入って陸上をがんばってやることです。陸上を続けてきて、ふだんは何も言わないう父が、練習や大会の時にグラウンドのスタンドで僕を

見守った視線が、僕の支えとなり陸上を続ける決意のきっかけにもなりました。なぜ商業高校かというと、今やつて自分の種目が、一番その高校で成果が出ると、先生から教えてもらったからです。それを知るまでは、どの高校に入れば良い結果が出るのだろうか、とても悩んでいました。「とにかくどこかの高校に合格すればいいや」という考えでしかありませんでした。先生の言葉で目標が定まった僕は、今、勉強に励む毎

日です。そして、できる限りやつてみようという思いが湧くようになりました。もし、商業高校に入ったら、陸上での結果を残すという夢を目標にして、「いつでも自己ベストを」という陸上部の顧問の先生の教えを支えにがんばっていきたいと思います。そして、次に目指す目標タイムも自分で持ち、その目標タイムに向かって毎日部活動に励んでいきたいと思っています。

僕は、家族や学校の先生に恵まれたことに感謝し、これから大事にしていきたいと思っています。

平成十五年度

各地区育成協の活動計画

外ヶ輪地区

○6ブロックで活動

- ・本町 環境調査、講演会等
- ・緑町 グートボール大会、町内子ども祭り等
- ・城北町 花火大会等
- ・中央町 ボーリング大会等
- ・大手町 花壇の植付・管理等
- ・新富町 三世代交流活動への参加等

○全体事業として講演会実施

御免町地区

○挨拶運動を中心に行っている。15年経過を節目に、思い出の事業を企画中。

○特別なスポーツ活動でなく、広くみんなのスポーツ活動を通して育成活動推進を図る。

猿橋地区

○5月の定期総会を起点とし、13ブロックの子ども会で活動を推進。(小規模の子ども会には地区育成協として助成)

○11月にはオータムフェスティバル、2月には各ブロックの活動反省会を実施。

二葉地区

○5月の総会を活動の出発点とする。

○主たる事業としては、地区の

住吉地区

○活動年度を7月(総会)から次年度7月(総会)までとする。

○研修講演会(「青少年の問題と家庭・地域の心がまえ」新発田警察署生活安全課長)

○土曜日曜での学習・体験活動

松浦地区

○環境浄化活動の実施
・愛のバトロール(有害物の撤去等)

・クリーン作戦(河川、道路等の危険箇所点検・改善等)
○青少年活動育成(部活動、子ども会)

○講演会の実施

佐々木地区

○環境調査の実施(自動販売機・危険箇所等)

○補導部パトロール

○8月の盆踊り参加

○10月に親子ふれあい事業

川東地区

○「あいさつ運動」看板取付
○青少年健全育成会講演会

○子育て活動(各校)の実施

・校内、地域クリーン作戦
・心すこやか講座
・「あいさつ運動」等々

○「休みを楽しく有意義に」「育成協だより」「会報」の発行、配布

五十公野地区

○地域奉仕活動の実施
・校庭、道路周辺の花壇整備、清掃

・老人ホーム慰問
○児童課外スポーツ活動
・サッカー、野球、ミニバス

○校区校外活動連絡協議会

米倉地区

○危険箇所の点検安全化
○野外活動の推進(海水浴、サントピアワールド行等)

○米倉太鼓の活動推進(村祭り、新発田祭り、登山道祭り等)

菅谷地区

○「あいさつ運動」の推進(標準語募集等隣接校と協力して)

○危険の点検(川、工事跡等)

○愛のバトロール

○ふれあい教室(そば打ち、もちつき等)

○二宮金次郎像移転計画推進

赤谷地区

○子ども会組織の改編を検討する。(少子化に対応して)

○クリーン作戦

○地区合同運動会
○登山 等々

加治地区

○公民館の中に育成協を設け地域全体で青少年健全育成の推進に努める。

○健全育成に関わる実態調査の実施。(バトロールを通して活動状況の把握、危険箇所の点検等実施)

○環境浄化・美化、体育大会、歴史探訪、挨拶運動等

東豊地区

○挨拶運動の推進
○ウォークラリー、三世代ゲートボール大会、ふれあい教室等の実施

○役員組織の改編を検討(他組織役員との重複を改善するため)

この活動計画から、各地区とも、それぞれ特色を十分に生かしたすばらしい育成活動を推進していることを知る事が出来ました。そして、このことは、先の総会で渡辺会長がまさに強調したことでありました。

青少年の健やかな成長は、私達誰しもの切なる願いであります。この計画と実践を指針として、今後とも力を合わせて努めていきたいと願っています。

おわりに

♪ぞうさん ぞうさん
だあれが すきなの
あのね母さんがすきなよ♪

だれでも口ずさみ、心に残っている一曲です。親子愛を代表する曲でもあります。もう一度思い起こしてみたいと思います。今年度のテーマをこの基本ともいえる「家族」を特集に組んでみました。家庭の中で、お互いに思いをかけあつて生きていくというのは、幸せの秘訣といわれています。これからは、そのことを一層大事にしていかなければならないと考えます。本号では、そこに焦点を当てたご意見をいただくことができました。まさに実りの秋、一層うるおい深い家庭を目指し合いたいと願っています。

文責 伊保橋

編集部

五十嵐 彌子
伊保橋 清美
志村 代子
皆川 早苗

